

<フィリピン・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2023年6月14日

フィリピンの2023年4月の貿易収支

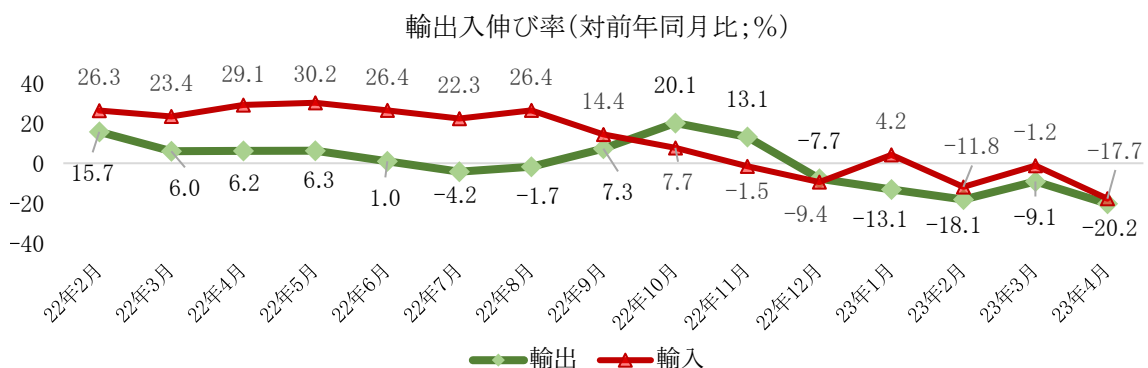
フィリピン統計庁(PSA)が発表した貿易収支統計(速報値)において、4月の輸出額は前年同月比20.2%減の49億米ドルだった。輸出伸び率は2022年前半にはプラス基調であったが、2022年12月以来マイナスの状況が続いている。

輸出の内訳を見ると、総輸出額の54.5%を占める最大品目の電子製品が前年同月比17.9%減の26.7億米ドルであった。2位は、他の製造品(同5.8%減の2.8億米ドル)、3位は他の鉱物製品(同47.8%減の2.1億米ドル)であった。

一方、4月の輸入額は前年同月比17.7%減の94.3億米ドル。電子製品が同17.9%減の21.2億米ドル。鉱物燃料(同42.6%減の12.5億米ドル)と輸送用機器(同25.5%減の8.5億米ドル)がそれに続く。インフレや金利上昇などにより、商品全般に対する需要が縮小、特に輸入が萎んだ影響により、4月の貿易赤字は45.3億米ドルへと、2022年8月に記録した過去最大の60.2億米ドルや前年同月の53.2億米ドルから縮小した。

4月の相手先別輸出額の首位は中国(本土)で7.7億米ドル(同20.7%減)、輸入額の首位も中国(本土)からで22.6億米ドル(同5.9%減)であった。

1~4月の累計では、輸出額が前年同期比14.9%減の217.7億米ドル、輸入額が同6.7%減の410.5億米ドルで、貿易赤字は192.8億米ドルとなった。



出所:フィリピン統計局(PSA)、ブルームバーグ

以上

免責事項

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社(CAM)が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAMが運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。